平成 21 年 5 月 15 日
国際石油開発帝石株式会社
広報・IR ユニット
（電話 03-5572-0233）

第 33 回インドネシア石油協会での最優秀ブースデザイン賞および最優秀ポスター賞の受賞について

去る 2009 年 5 月 5～7 日にインドネシア共和国・ジャカルタにて開催された第 33 回インドネシア石油協会（IPA : Indonesian Petroleum Association）（2009 年度年次総会）において、当社の展示ブースが、出展した石油開発会社 24 社のうち「最優秀ブースデザイン賞（石油開発会社部門）」を、また、当社の社員が提出した論文が、一般部門の最優秀賞を受賞した 6 論文の 1 つとして最優秀賞（ポスター・セッション部門）を受賞したことをお知らせ申し上げます。

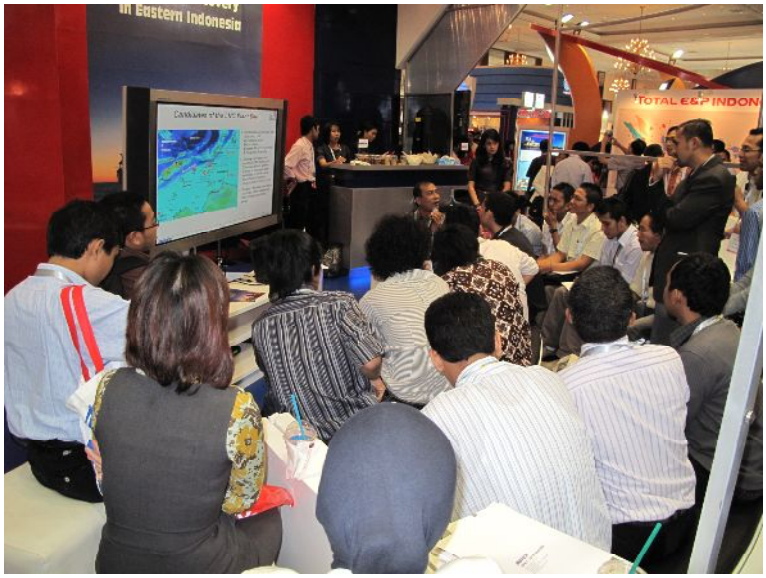
IPA 年次総会には 3,000 名以上の参加があり、展示会では、当社ジャカルタ事務所員が、当社および当社事業、特にマセラ鉱区アバディプロジェクト（下記）の進捗について、多くの訪問者に説明いたしました。なお、最優秀ポスター賞を受賞した論文は、マセラ鉱区アバディガス田の埋蔵量評価に関する技術的な論文です。（タイトル：「INTEGRATED GEOLOGICAL MODELING AND VOLUMETRIC UNCERETAINTY EVALUATION FOR THE ABADI GAS FIELD」）

インドネシアは、当社の事業活動の中核的地位を占め、東カリマンタンマハカム沖鉱区で 50%の権益を保持する原油・天然ガスの開発・生産事業を実施しており、また、100%権益を保有するアラフラ海域沖合マセラ鉱区では、アバディガス田の液化天然ガス（LNG）開発準備作業をオペレーターとして実施するなど、合計 11 鉱区にて探鉱・開発・生産事業を展開しております。

以上

最優秀賞（ポスター・セッション）（左）・最優秀ブースデザイン賞（右）記念品

当社ブース



当社ブースでのアバディプロジェクト プレゼンテーションの様子